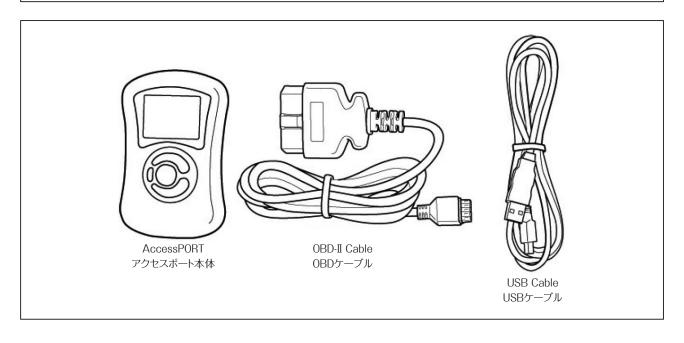
AccessPORT™
アクセスポート
取扱説明書

ご使用になる前に必ずお読みください

《商品番号・適合車種》

20233CB1002　GR/GV C-E, GH D, SH C-D, YA B-E 6MT/5MT/5AT/4AT ターボ
20230CB1004　GR/GH 6MT/5AT/5MT/4AT, SH 5MT/4AT, YA 5AT ターボ
20140CB1001　BM/BR A-C 2.5Lターボ　*DIT除く
20134CB1002　BL/BP D-F 6MT/5MT/5AT ターボ, Tuned by STI, S402, 2.5XT
20130CB1001　BL5/BP5 A-C ターボ

この度は弊社アイフェル・アクセスポート（AP）をご購入頂き誠に有難うございます。
本製品の性能を最大限に発揮し、安全かつ長くご使用頂ける様、ご使用の前に必ず本取扱説明書を良くお読みください。
また、安全に取付けるとともに、正しくご使用くださいます様、お願い致します。

危険	●本取扱説明書は有資格作業者向けに作成されておりますので、本製品の取り付けは全国のスバルディーラー、または知識と経験のあるショップや自動車用品店で行ってください。 ●誤った取り付は本来の性能を発揮できないだけではなく、重大な事故に繋がる可能性がありますので取付要項の手順で確実に行ってください。 ●適応車種以外への取り付けや、改造加工は危険ですので絶対に行わないでください。 ●エンジン暖気後の作業は、エンジンルーム内パーツが高温になっていますので火傷などに注意してください。 ●本製品はECUリプログラムシステムですので、誤った方法や手順、注意事項を守らない場合にECUを破損する可能性があります。必ず本取扱説明書の内容通り作業を行ってください。
⚠ 注意	●誤った取り付け及び誤った使用方法による物損は保証の対象外になります。 ●この製品は厳密な品質管理の後出荷していますが、運送上のトラブル等による不具合がないか装着前に必ずご確認ください。万一異常が見つかった場合は購入店、または弊社営業部宛に直接ご連絡ください。正常な製品と交換致します。 ●本製品はデリケートにできています。無理に力を加えたりしないで下さい。取扱いには十分ご注意ください。

内蔵される基本マップ

SSECU mode …………… 各ECUID(車種/IDごとに異なります)ごとに作成されたチューニングデータです、インストール（書換）時に選択してください。

SP SSECU mode …… ※一部設定車種のみ　より高度チューニング内容のデータ、車両はノーマル状態でも構いません。

Security mode ………… 点火信号を発しないデータ、長期駐車時や盗難予防のためのデータです。

Normal mode …………… リミッタ関連以外を純正と同じパラメータにした比較用データです、ECUが戻るアンインストールではありません。

Valet mode ……………… バレーパーキング用データ、3000rpm でリミッタが作動するデータです。

諸注意:SSECUシリーズデータは幅広く市販されるスポーツパーツを装着しても十分に機能するよう車種別に設定しています。SSECUシリーズデータはE/g内部（排気量、カムシャフト、ターボなど）に関わる変更が無い限り十分に対応します。
SSECUシリーズデータは個別に過給圧リミット設定を設けてあり、オーバーブースト時にはフュエルカットが作動して純正システム同様エンジンを保護します。他社製過給圧調整装置を使用している場合には、本製品の設定過給圧は作動しません。これらの基本マップはいずれもリアルタイムによって容易に切替ができます。

製品概要

●AccessPORT（以下アクセスポート）はECUリプログラミングツールです。専用ケーブルにて診断ポート（OBDコネクタ）に接続、ノーマルECUをチューニングECUにリプログラムします。
●シンプルな操作によってどなたでも簡単にチューニングデータを車両にインストールすることができます。ECU本体の脱着や配線作業は必要ありません。
●ベースマップはECU内部のフラッシュROMに書き込まれ、バッテリーを外したり、メモリリセットをしてもチューニングECUのままです。
●車載されているユニットを使用しますので、純正イモビライザ機能もオリジナルのまま作動します。　またアンインストールすることで、導入前のECU状態に戻す事が可能です。
●インストール/アンインストール動作はECU内のフラッシュメモリを書き換えます、フラッシュメモリには約100～500回程度の物理的寿命がありますので、必要のないときには書き換えを行わないで下さい。
●本体に内蔵される各マップはリフラッシュ（書換作業）を伴わないで、メモリダンピングスイッチ（リアルタイム）にて切り替えることができます。
●チューニングデータは低回転のNA領域よりトルクアップさせ、高いレスポンス性能、スムーズな出力特性により心地よいスポーツフィールを実現しています。
●車速リミッタ、設定過給圧の変更、点火タイミング、燃料混合比も各センサより検出される信号を基に算出、統合制御して最適なエンジン運転状況を作り出します。
●本製品は正常なコンディションのエンジンに最適なセッティングとなっています、排気量やターボサイズの大幅な変更が施されたエンジンの場合には別途、ご相談下さい。
●重度の改造、排気量、ターボチャージャ、カムシャフト、圧縮比の変更などエンジン主機に関する大幅な変更があるエンジンには使用しないで下さい。
●ご使用にあたり十分な性能と耐久性を確保するために、エンジンオイル、エアフィルタ、冷却水や点火プラグなどの点検･メンテナンスや交換は怠らないで下さい。
●追加メーター等にてエンジンコンディションの管理をされることをお勧めいたします。
●純正同様のフェイルセーフプログラムを採用しています、何らかの原因によりECUへの信号異常が検知されますと燃料カット･点火カット･スロットルリダクション等が作動して、エンジン保護のために回転数抑制、過給圧抑制制御が行われます。
●過給圧は自動的に制御されています、基本的に他社製過給圧制御装置等は必要としません。　また、他社製過給圧制御装置が装着された場合、本製品設定の過給圧制御は作動しません。
●設定過給圧は各回転数、負荷値などによりきめ細かく設定されています、最大値と安定値は同じではありません、また、他社製過給圧制御装置が装着された場合、本製品の過給圧制御は作動しません。
●本製品は車種別専用設定となっています、適応車種以外への取付･インストール、分解･加工等は絶対に行わないで下さい。
●本製品は外観上にて車種を特定できません、必ず本書とあわせて保管し管理してください。　車種不明品については実費ご負担による点検を申し受けます。

製品概要

本製品はハンドヘルド型ECUリプログラマーで、基本的に以下の機能が使用できます。
●OBD-II（On-Board Diagnostic: 自己診断）ポートからECU（エンジンコントロールユニット）の書換
●車両側各種純正センサー入/出力値の本体画面への表示
●故障診断（DTCs: Diagnosis Trouble Codes）コードの読取/消去、
●車輪速センサを使用した 0-60MPH(0-100km/h), 1/4Miles(0-400m) 時間計測
●簡易燃費計算値の本体画面への表示
●回転数、点火遅角タイミングの調整 *自己診断機との同等機能

注意・警告

AccessPORT / アクセスポート（以下、本製品）の車両へのインストール
使用は車両製造者（車両メーカー）による標準的な保証を無効にする可能性があります。
車両保障にかかわる一切の責任は 米COBBTUNING社 または 株式会社プローバ では負いかねます。
本製品の使用に関する一切の責任や危険は 使用者または購入者 自身の責任と判断において、行われることとします。

AccessPORT / アクセスポート（以下、本製品）の製品の特性上、走行中のデバイス操作が可能ですが、
走行地域の法律によって運転中の車両以外の機器類操作が禁止されている場合には、本製品の走行中の操作は行わないでください。
また、走行中の使用に関する法律違反に関する一切の責任は 米COBBTUNING社 または 株式会社プローバ では負いかねます、
使用者または購入者 自身の責任と判断において、行われることとします。

AccessPORT / アクセスポート（以下、本製品）は製造時の車両配線を使用してエンジンコントロールユニット（以下、ECU）と通信して機能します。
したがって、車両配線の加工･改造がなされた車両では正しく機能しない場合があります、
その場合にはすべての配線が製造時の状態になっているかを確認してから、本製品を使用してください。
車両側配線の修復などに関する一切の責任は 米COBBTUNING社 または 株式会社プローバ では負いかねます、
使用者または購入者 自身の責任と判断において、行われることとします。

製品仕様・環境について

1.使用および保管時の環境について
AccessPORT/アクセスポート（以下、本製品） は 摂氏 0 – 35度（華氏 32 – 95°F）, 最大湿度80% 以内で取扱って下さい。
条件外での使用は本製品本体の正常な動作を妨げ、故障の原因となります。
*保管のみの場合でも、摂氏 -10 – 45度（華氏 0 – 115°F）, 最大湿度90% 以内の環境下にて行ってください。
*また直射日光のあたる場所での保管はしないでください。

2.水や液体類などに濡らさないでください
AccessPORT/アクセスポート（以下、本製品） に含まれる 製品/部品 は 絶対に水を含む、いかなる液体類に濡らさない で下さい。
*本製品は防水加工が施されておりません、液体類に浸すと破損･故障の原因 になります。
*液体類に 濡らしてしまった、本製品はそのまま使用しない でください。

3.取扱と保管について
AccessPORT/アクセスポート（以下、本製品） は 絶対に落下させたり、衝撃を与えたりしない でください。振動や静電気、急激な加熱、極端な湿気のある場所で本製品の使用や保管は故障や破損に繋がります。
AccessPORT/アクセスポート（以下、本製品） に含まれる 製品/部品 は 絶対にユーザー自身で分解･修理をしない でください、破損･故障の原因になります。
*本製品本体ケースを開けた時点で、製品の分解と認定し、いかなる製品に対する保証やサービスの享受権利が停止されます。

各部の名称

スクリーン

キャンセルボタン

UPボタン

OKボタン

DOWNボタン

USBポート

AccessPORT

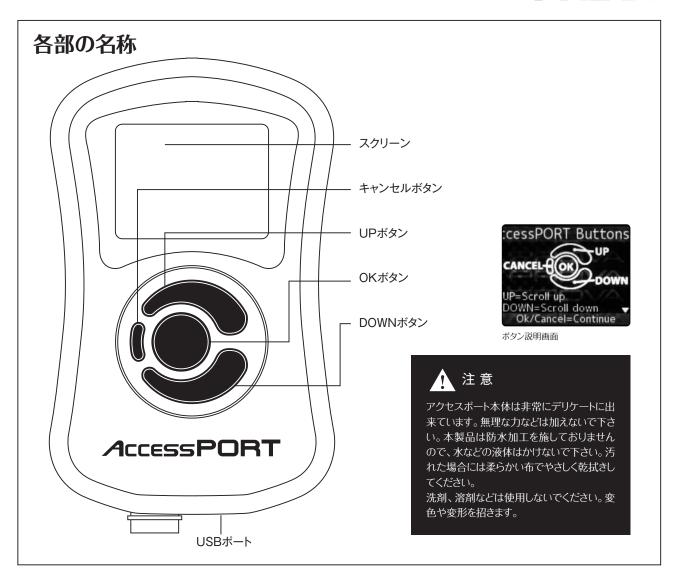
:cessPORT Buttons
CANCEL OK UP DOWN
UP=Scroll up.
DOWN=Scroll down
Ok/Cancel=Continue

ボタン説明画面

注 意

アクセスポート本体は非常にデリケートに出来ています。無理な力などは加えないで下さい。本製品は防水加工を施しておりませんので、水などの液体はかけないで下さい。汚れた場合には柔らかい布でやさしく乾拭きしてください。
洗剤、溶剤などは使用しないでください。変色や変形を招きます。

インストールの前に

注 意

●はじめに製品と車両の適合を確認してください。
●本取扱説明書の示すとおりに作業を行ってください、使用することが出来なくなる可能性があります。
誤った作業方法などにより破損した場合には一切の保証が出来かねます。
●スピードリミッタ解除装置、リモートスタータ装置などCAN通信信号を使用する機器が装着されている場合は一度取外してから本製品を使用して下さい。本製品が正常に作動しない可能性があります。
●OBDポートを使用する機器は一旦取外した上でインストールしてください、
インストール後には使用することが出来ます。
●バッテリーの充電状況を確認してください、途中での電源断絶はECUを破損させます。
●書換中には接続を解除したり、電源を落としたりしないで下さい、ECUの破損に繋がります。
●本製品は同時に複数台の車両に使用しることができません。
●ECU品番と実際に内蔵されるECUIDはリプログラムによって一致しない可能性があります。
●適合ユニット品番でもリプログラムを受けた場合、適合しない可能性があります。
●インストールされるデータは自動的にECUIDにて識別されています。
●他リフラッシュツールによってポートクローズされたECUにはインストールすることが出来ません。
●書換途中で接続が途切れた場合、次回起動時にリカバリーモードが動作します。
●リカバリーモードはインストール前に読み込んだSAVEデータ内容にECUを書き換えます。

インストール手順

本取扱説明書は有資格作業者向けに作成されておりますので、本製品の取り付けは全国のスバルディーラー、
または知識と経験のあるショップや自動車用品店で行ってください。

《1》バッテリーの充電状態を確認してください。
フル充電されていない場合は新品に交換するか、しばらく運転させて充電してください。
《2》エアコン、オーディオなどの電子機器、ecoモードスイッチをOFFにして下さい。
バッテリー上がりの原因になります。

注 意　作業途中のバッテリー上がりはアクセスポートのインストールが出来なくなるだけでなく、
ECUの破損につながります。

2　キースイッチを完全にOFFの状態にします。

注 意
プッシュスイッチ車の場合:
ブレーキ/クラッチペダルを踏まない状態で、スイッチを2回押してください。
※ブレーキ、クラッチペダルは踏まないで下さい、エンジンが始動してしまいます。

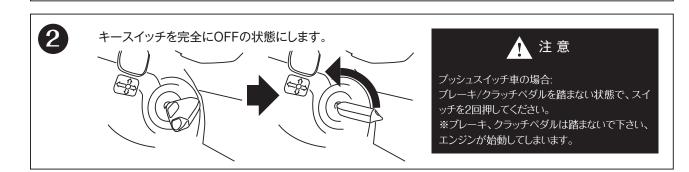
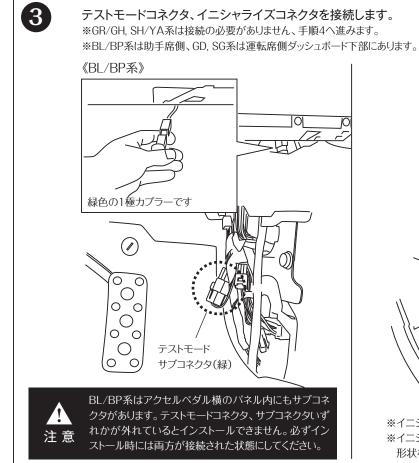
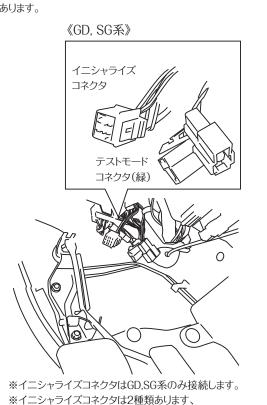
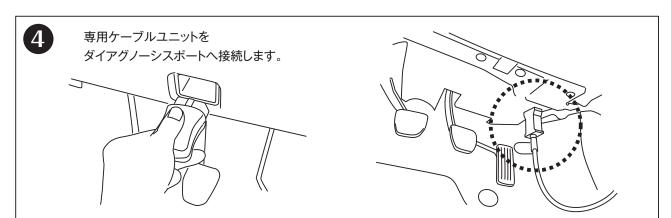
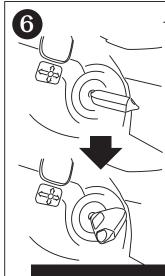
3　テストモードコネクタ、イニシャライズコネクタを接続します。
※GR/GH, SH/YA系は接続の必要がありません、手順4へ進みます。
※BL/BP系は助手席側、GD, SG系は運転席側ダッシュボード下部にあります。

《BL/BP系》

注 意　BL/BP系はアクセルペダル横のパネル内にもサブコネクタがあります。テストモードコネクタ、サブコネクタいずれかが外れているとインストールできません。必ずインストール時には両方が接続された状態にしてください。

《GD, SG系》

※イニシャライズコネクタはGD,SG系のみ接続します。
※イニシャライズコネクタは2種類あります、
形状を確認して接続してください。

❹ 専用ケーブルユニットを
ダイアグノーシスポートへ接続します。

❺ 車両に接続した専用ケーブルをAP本体に接続します。
正常に接続されると自動的に電源が入り、
オープニング画面が表示されます。

※まだ、OKボタンを押さないで下さい
※ツメの位置を合わせて接続します

❻ インストールの実行

《1》キーONにします。
※エンジンは始動させないでください。
《2》インストールアイコンを選び、
OKボタンを押します。
《3》ECU確認画面が表示された場合、
確認後OKボタンを押します。

※プッシュスイッチの場合、ブレーキ/クラッチペダルを踏まずに2回押します。
※テストモードコネクタを接続する車種は
電動ファンが間欠動作します、
確認してください。
※電動ファンが間欠動作します、
確認してください。

/ehicle Identificatio
Please confirm
that your vehicle
matches the
identification results:
AL380 - GDBF Spec C
Ok=Continue Cancel=Exit

注 意

右記画面表示にて車種識別ができない場合には、
P18のインストールできない場合をご参照下さい。

ehicle Identificatior
Failed to
recognize
vehicle. Please
contact Technical
Support with the
following identifier:
Ok=Retry Cancel=Exit

❼

《4》 インストールするデータを選択し、OKボタンを押します。

※通常 SSECU mode を選択してください、詳細は内蔵されるマップ P2 をご参照下さい。

データを確認し再度OKボタンを押します。

《5》 イニシャライズ、テストモード各コネクター接続確認のメッセージが表示されます、
確認したらそれぞれOKボタンを押します。

Initialization Mode
Please connect the white or blue 'Initialization Mode' connector. The other end of the connector can be found under the driver's side dash.

Test Mode
Please connect the green 'Test Mode' connectors. The connectors are typically found under the driver's side dash and sometimes under the

イニシャライズコネクタ接続確認
※エラーメッセージが表示された場合、
各コネクタが接続されているかを確認してください。

テストモードコネクタ接続確認

《6》 Cycle Keyメッセージが表示された場合、
一旦キーを完全にOFF、
再びONに戻し、OKボタンを押します。

※エンジンは始動させないでください。
※OKボタンを押すまで、
3秒以上間隔をあけないでください。

Cycle Key
Please turn ignition key to the 'OFF' position. Turn ignition key to the 'ON' position and immediately press 'Ok' to continue.

❽

《7》 完了メッセージが表示されたら、キーを完全にOFFにしOKボタンを押します。

《8》 イニシャライズ、テストモード各コネクター解除確認のメッセージが表示されます、
確認したらそれぞれOKボタンを押します。

イニシャライズコネクタ解除確認

テストモードコネクタ解除確認

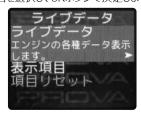
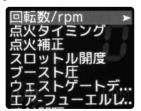
《9》 ❸で接続した、イニシャライズコネクタ、テストモードコネクタを取外します。

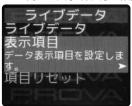
動作確認

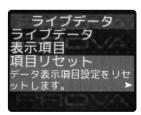
《1》 エンジンを始動させた状態で本体を接続します。
《2》 メニュー画面からダウンキーを押し、
ライブデータを選択、OKボタンを押します。
《3》 各項目が正常に表示されているかを
確認してください。

各メニュー項目

ライブデータ

ライブデータ:
ECUへ入力されている回転数、車速、A/Fなどを表示します。
各項目を選択し、OKボタンで決定します。

表示一覧

表示項目:
ライブデータ内での表示・非表示を設定できます。

変更確認画面

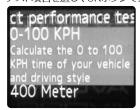
変更終了確認

※数値表示中(通信中)にIGN OFF にしたり、製品の接続を解除しないでください。
※数値表示(通信)を終了させてから、IGN OFF や 製品の接続解除を行ってください。

各メニュー項目

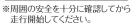
パフォーマンス:
ECUに入力されている信号値から、0-100km/h,
0-400m の時間を計測します。

■テスト項目
0-100KPH → 0-100km/h 到達までの時間計測
0-400m → 0-400m 走行までの時間計測
※実際の走行の際は完全に停車し、
周囲の交通状況を十分に確認してから行ってください。

《1》 パフォーマンスメニューを選び、OKボタンで選択してください

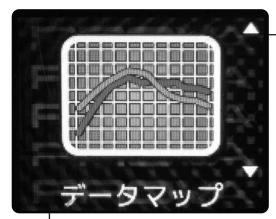
《2》 テスト項目を選び、OKボタンで選択します。

0-100km/h 測定　　0-400m 測定

《3》 完全に停車し、画面を確認したら走行スタートします。

※周囲の安全を十分に確認してから
走行開始してください。

※車速信号が 0km/h にならないと
停車メッセージが表示されます。

《4》 計測が終了したら、安全な場所に停車します。

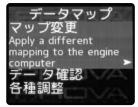
※数値表示中(通信中)にIGN OFF にしたり、製品の接続を解除しないでください。
※数値表示(通信)を終了させてから、IGN OFF や 製品の接続解除を行ってください。

各メニュー項目

データマップ

内蔵データ種類

SSECU:	標準チューニング
SP SSECU:	チューニングOP *一部のみ
Security:	非点火、*盗難防止用
Normal:	擬似ノーマル *比較用
Valet:	3000rpmリミット *駐車場用

※ディーラー入庫の際などは、アンインストールを行ってください。
※データ種類は変更になる可能性があります。

マップ変更:
リアルタイムマップ、ベースマップの各データを切り替えることが出来ます。

リアルタイムマップ:
RAM領域を使用したメモリダンプを行います、ECUを書換えませんので、始動状態でも切り替えられます。

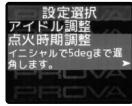
ベースマップ:
ECUを書換える為、インストール時同様の手順が必要です。
※通常は使用しません。

データ確認:
リアルタイムマップ、ベースマップの現在使用中データを確認できます。

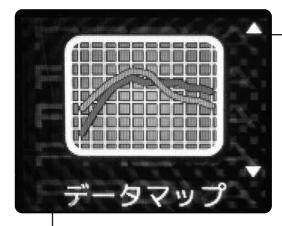
リアルタイムマップの確認

ベースマップの確認

各種調整:
ECUで可能な設定変更ができます。

アイドル回転数調整:
AC ON/OFF時のアイドル回転数を個別に設定できます。

点火時期調整:
イニシャルで点火時期を-5degまで設定できます。

※マップ変更中は、IGN OFF にしたり、デバイス接続の解除を行わないでください。
※マップ変更作業を終了させてから、IGN OFF や 製品の接続解除を行ってください。

各メニュー項目

ローンチコントロール（LC)

静止状態でのREVリミット機能
クラッチペダルを踏み込んだ状態で作動、
パフォーマンススタートアシスト機能です。
※一部、マニュアル車のみの設定 ※駆動系への過大な負担があります。

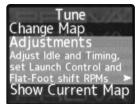
フラットフットシフト(FFS)

クラッチ操作のみでのシフトアップ機能
クラッチが切れた状態で作動するREVリミット機能、
アクセル戻し調整を必要としない機能です。
※一部、マニュアル車のみの設定 ※駆動系への過大な負担があります。

ローンチコントロールRPM設定:
静止+クラッチを踏み込んだ状態　でのREVリミット回転数を設定します。

アジャストメニュー

ローンチコントロール回転数設定

回転数設定画面、上下ボタンで調整しOKボタンを押してください。

以上で、静止状態+クラッチペダルを踏み込んだ状態での回転数制限設定ができます。

注 意
※過度に高い回転数にセットした場合、クラッチミート時の負担などによって駆動系の摩耗に繋がります。※多用するとクラッチプレートの摩耗に繋がります。
※安全上、一般公道でのパフォーマンススタートは行わないで下さい。

フラットフットシフトRPM設定:
走行中+クラッチが切れた状態　での作動するREVリミット回転数を設定します。

アジャストメニュー

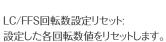
Select Setting
Adjust Timing
Launch Control
Flat-foot Shift
Adjust Flat-foot Shift RPM
Reset LC/FFS

フラットフットシフト回転数設定

回転数設定画面、上下ボタンで調整しOKボタンを押してください。

以上で、走行状態+クラッチが切れた状態での回転数制限設定ができます。

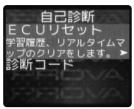
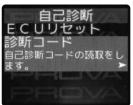
注 意
※過度に高い回転数にセットした場合、クラッチミート時の負担などによって駆動系の摩耗に繋がります。※多用するとクラッチプレートの摩耗に繋がります。
※安全上、一般公道でのパフォーマンススタートは行わないで下さい。

LC/FFS回転数設定リセット:
設定した各回転数値をリセットします。

設定リセット（再設定）メニュー。

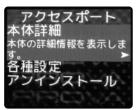
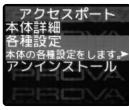
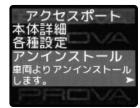
完了後、キーオフにして再始動してください。

※本ページの機能は一部車種のみの設定です。
※一般公道上で本機能を使用しないで下さい。

各メニュー項目

自己診断

ECUリセット:
ECUメモリをリセットします。リアルタイムマップも消去されますので、インストール（ベースマップ）状態に戻ります。

診断コード:
既出のエラーコードを読取表示します。サービスマニュアルと照らし合わせることで原因を特定できます。

アクセスポート

アクセスポート:
本体の詳細情報の確認、アンインストールを行うことができます。

本体詳細:
シリアル、ファームウェア、現在の状態などの本体情報を表示します。

各種設定:
表示言語の設定ができます。

アンインストール:
車両よりアクセスポートを完全に取外します、取扱説明書の手順に従って行ってください。

アンインストール手順

本取扱説明書は有資格作業者向けに作成されておりますので、本製品の取り付けは全国のスバルディーラー、
または知識と経験のあるショップや自動車用品店で行ってください。

《1》バッテリーの充電状態を確認してください。
　　フル充電されていない場合は新品に交換するか、しばらく運転させて充電してください。
《2》エアコン、オーディオなどの電子機器、ecoモードスイッチをOFFにして下さい。
　　バッテリー上がりの原因になります。

注 意　作業途中のバッテリー上がりはアクセスポートのインストールが出来なくなるだけでなく、
ECUの破損につながります。

❷ キースイッチを完全にOFFの状態にします。

注 意
プッシュスイッチ車の場合:
ブレーキ/クラッチペダルを踏まない状態で、スイッチを2回押してください。
※ブレーキ、クラッチペダルは踏まないで下さい、エンジンが始動してしまいます。

❸ テストモードコネクタ、イニシャライズコネクタを接続します。
※GR/GH, SH/YA系は接続の必要がありません、手順4へ進みます。
※BL/BP系は助手席側、GD, SG系は運転席側ダッシュボード下部にあります。

《BL/BP系》

注 意　BL/BP系はアクセルペダル横のパネル内にもサブコネクタがあります。テストモードコネクタ、サブコネクタいずれかが外れているとインストールできません。必ずインストール時には両方が接続された状態にしてください。

《GD, SG系》

※イニシャライズコネクタはGD,SG系のみ接続します。
※イニシャライズコネクタは2種類あります、
　形状を確認して接続してください。

❹ 専用ケーブルユニットを
ダイアグノーシスポートへ接続します。

❺ 車両に接続した専用ケーブルをAP本体に接続します。
正常に接続されると自動的に電源が入り、メニュー画面が表示されます。

※まだ、OKボタンを押さないで下さい
※ツメの位置を合わせて接続します

❻ アンインストールの実行

《1》キーONにします。
※エンジンは始動させないでください。

※プッシュスイッチの場合、
ブレーキ/クラッチペダルを
踏まずに2回押します。

※テストモードコネクタを接続する
車種は電動ファンが間欠動作します、
確認してください

※電動ファンが間欠動作します、
確認してください。

《2》アンインストールアイコンを選択、
OKボタンを押します。

❻

《3》 車種を確認し、OKボタンを押します。

JI_INFO_IDENTIFY_
UI_INFO_IDENTIFY_TEST_
text.
serial=122556252
AP_SERIAL=553648129
vehicle=SUBA_JP_AL380
AP_VEHICLE=SUBA_JP_AL
380

《5》 イニシャライズ、テストモード各コネクター接続確認のメッセージが表示されます、
確認したらそれぞれOKボタンを押します。

Initialization Mode
Please connect the white or blue 'Initialization Mode' connector. The other end of the connector can be found under the driver's side dash.

イニシャライズコネクタ接続確認
※エラーメッセージが表示された場合、
各コネクタが接続されているかを確認してください。

Test Mode
Please connect the green 'Test Mode' connectors. The connectors are typically found under the driver's side dash and sometimes under the

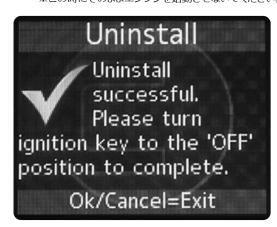
テストモードコネクタ接続確認

《6》 Cycle Keyメッセージが表示された場合、
一旦キーを完全にOFF、
再びONに戻し、OKボタンを押します。

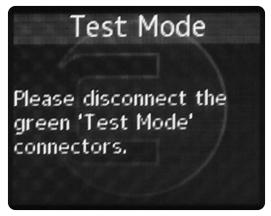
※エンジンは始動させないでください。
※OKボタンを押すまで、
3秒以上間隔をあけないでください。

Cycle Key
Please turn ignition key to the 'OFF' position. Turn ignition key to the 'ON' position and immediately press 'Ok' to continue.

❻

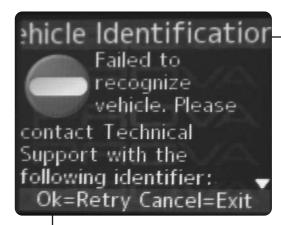
《6》 完了メッセージが表示されたら、キーを完全にOFFにしOKボタンを押します。
※この時にそのままエンジンを始動させないでください。

《7》 イニシャライズ、テストモード各コネクター解除確認のメッセージが表示されます、
確認したらそれぞれOKボタンを押します。
※イニシャライズ/テストモードコネクタ　を使用しない車両は表示されません。

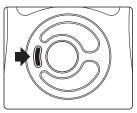
Initialization Mode

Please disconnect the
white or blue
'Initialization Mode'
connector.

イニシャライズコネクタ接続確認

テストモードコネクタ接続確認

《8》 ❸で接続した、イニシャライズコネクタ、テストモードコネクタを取外します。
※イニシャライズ/テストモードコネクタ　を使用しない車両は行う必要はありません。

インストール（車両識別）ができない場合

Vehicle Identificaton(車両識別)
エラーメッセージが表示された場合、
以下手順にてECUデータ保管ができます、
保管後当社までお問い合わせ下さい。

《1》下に画面をスクロールさせ、2桁ずつの数字とアルファベットの組合コードをメモしてください。

《2》一旦、キャンセルボタンにてメニュー画面に戻ります。

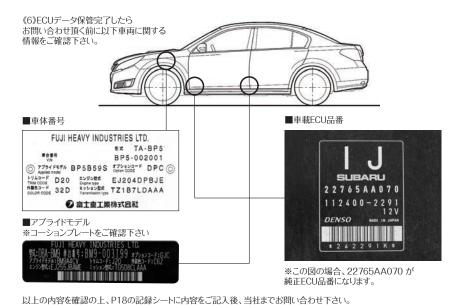
《3》メニューアイコンをスクロールさせ、User Tools を表示させます。

《4》キーONの状態にて User Tools アイコンをOKボタンにて選択し、ECUデータ保存させてください。

《5》完了メッセージを確認後、キーOFFにしOKボタンを押して、本製品を取外してください。

《6》ECUデータ保管完了したら
お問い合わせ頂く前に以下車両に関する
情報をご確認下さい。

※この図の場合、22765AA070 が
純正ECU品番になります。

以上の内容を確認の上、P18の記録シートに内容をご記入後、当社までお問い合わせ下さい。

ECUデータ保管記録シート

インストール（車両識別）できなかった場合、下記情報を記載の上、開発データ収集にご協力下さい。

Vehicle Identification 画面時に表示された組合コード	
車体番号 ※車両コーションプレートをご覧になってご記入ください。	
車載ECU　No ※車両に搭載されている純正ECU品番(22611または22765から始まる10桁)を確認の上、ご記入ください。	
ディーラーリプログラムの有無　ECUリプログラムを　**している　/　していない　/　わからない** ※当該車両がECUリプログラムされているか、わかる場合にご記入下さい。	
データ開発リクエスト　当該車両用の開発を　**希望する　/　希望しない** ※当該車両用の製品開発を　希望する/希望しない　をご記入下さい。	
データ保管日　年　月　日	
お客様もしくは車両所有者様のご連絡先　電話	
ご購入店	

※ご提供頂いた個人情報は当社内に留め、本人のご了承なしに第三者に開示･共有することはありません。

保証書

保証規定内容を承諾し、記載事項に偽りの無い事を誓約致します。

商品番号	※製品概要のページをご覧になってご記入ください。
シリアルNo	※製品本体裏面に記載されています、製品を確認の上ご記入ください。
車体番号	※エンジンルーム内のコーションプレートを確認の上ご記入ください。
保証期間	ご 購 入 日 よ り 1 年
ご購入日	年　　月　　日
お 客 様	名前 住所 電話
販 売 店	

※ご提供頂いた個人情報は当社内に留め、本人のご了承なしに第三者に開示･共有することはありません。

●本取扱説明書の示す通りに作業を行ってください。ECU本体が破損致します。本取扱説明書通りに作業しない場合、弊社は一切の保証を致しません。
●本製品は水濡れ、電気的なショートあるいは落下などの強い衝撃により破損します。取扱いには細心の注意を怠らないようお願いいたします。
●本製品は正常な使用状態では内部データが破損する事はありません。なんらかの外的要因に起因する故障、破損は保証対象外になりますのでご了承下さい。
●特にアクセル全開の最高速状態を5分以上連続すると、燃焼室温度の上昇、燃料ポンプ容量不足による燃圧低下を生じる恐れがありますので高負荷連続運転は行わないで下さい。また、高負荷状態の走行が多い場合は燃料ポンプの強化、冷却系の強化など対策処理を行って下さい。
●製品の不具合、故障、トラブル等異常を感じましたら、まず具体的な症状を確認して下さい、原因の早期対策に有効になります。また、不具合などご不明な点がございましたら弊社営業部宛てにご相談ください。
●本製品を取付けた事により、富士重工業（株）の車両クレーム保証対象外とされる可能性があります。
●本製品を弊社および販売店以外の第3者から、無断で譲渡･売買により入手された場合、製品の点検、確認は弊社で承りますが、交換および買取などは一切行いませんのでご了承ください。
●所定の記載事項にもれ等がありますと有償保証とさせていただきます。また、使用上の誤り、不当な修理、分解改造による故障および破損、お買い上げ後の輸送や落下による故障などの場合には一切の保証対象外とさせていただきます。
●その他ご不明な点などがございましたら、弊社営業部（045-591-5501）までお問い合わせください。

販売元:株式会社プローバ

〒224-0025 神奈川県横浜市都筑区早渕3丁目30-8 Phone. 045-591-5501 Fax. 045-591-5535

support@jprova.co.jp http://www.jprova.co.jp/